

浦安市子育て家庭課と浦安市保育フォーラム懇談会議事録

開催場所：浦安市文化会館 3階 第一会議室

日時：平成13年11月21日（水） 19：00～21：00

<出席者>

子育て家庭課：浅井課長、小滝課長補佐、

〔保育係〕 井上係長、大塚さん、三代川さん、

〔児童育成係〕 長島係長、大塚さん

保育フォーラム：〔入船保育園〕 青木（司会）、小山、水谷、野上

〔富岡保育園〕 秋山、岩島、外崎

〔日の出保育園〕 平井、石川、磯山、平賀

〔東野保育園〕 水摩、川辺、矢野、藤村、来田、音池

〔当代島保育園〕 松島、菊池、清水、宇田川、川西

〔猫実保育園〕 宮下、和田

〔高洲保育園〕 金子、西垣（書記）

議 事 内 容

・ 子育て家庭課浅井課長より、父母会からの要望事項に対するコメント

1. 前年度からの要望事項

1.1 保育内容について

（1）複数担任については、現在のフリー保育士制を今後も続行していく。連絡事項などを徹底して、連携を取って行っているものと考えている。

（2）保育士と園児の対数については、近隣の自治体との比較が全てとは考えていないが、重要な尺度の一つである。浦安市は、他市と比べて不十分とは考えていない。3・4・5歳児に関してはフリー保育士で対応しているが、今後の検討課題の一つである。

1.2 保育料について

浦安市の保育園施設・職員の体制面で他市と比較すると、優れている面が多いので、保育料は全体的に見て安い金額だと考えている。したがって、今後値上げする方向で検討している。平成5年に保育料の改定を行い、平成6年から今の金額のまま変更していない。

現在、園児に係る総費用の内訳を考えると、17%を各家庭で負担していただいております、残りの83%を公費で負担している。今後、この負担の割合を考え直していく方針。

1.3 時間外保育について

（1）産休明け保育の時間外保育は、必要性があると考え、今後検討していきたい。

（2）土曜日の時間外保育に関しては、園によっても状況が違い、全体的に需要が低い。実施する

2001 対市交渉

のであれば、時間外保育料の徴収も視野に入れて検討していきたい。

また、平成 14 年度よりファミリー・サポートセンターの開設が決まっており、そちらで時間外の対応ができるのではないかと考えている。

1.4 給食、おやつ改善について

- (1) 内容の充実については、現在も行っているが、引き続き努力していきたい。
- (2) 時間外のおやつについては、これにより夕飯を食べない等の意見もあり、また、時間外保育を利用しない家庭への平等という面からも、時間内の給食・おやつを優先するべきものと考えている。
- (3) 食物アレルギー症状の対応については、0 歳児においては個別献立で対応し、1 歳児以降は除去食、代替食で対応している。
- (4) 外部委託については、基本的には園の給食施設で作り、栄養士は市の職員という考えは変えないが、調理のみを民間に委託することは検討中である。

1.5 市内保育園の施設の均一化について

猫実保育園は 54 年、高洲保育園は平成 11 年と設園に 20 年の差があるので、全て均一化というのは困難であるが、必要な管理・補修は毎年行っている。

1.6 保育園の増設について

入園待機児が約 200 名程いる現在、最大の緊急課題である。今年の 7 月に健康福祉部に企画調整室を開設し、待機児解消計画を策定中。同じく、教育委員会に於いても企画調整室にて策定しており、平成 13 年度中に方向性を示す予定。

1.7 入園予約制度について

現状は待機児が多いため困難。

1.8 病児保育について

病児保育制度については広報うらやすやケーブルテレビでもお知らせしており、利用案内は各園にも備えてある。問合せの件数等からある程度周知されているものと考えている。

次に、登園中の園児の体調が悪くなり、父母が直ちに迎えにいけない場合に備えて、近隣の医療機関と連携をとってなんらかの救済措置への要望については、園で安静にし、発熱の場合は冷やす等の対応はするが、基本的には保護者に迎えにきてもらうことが一番と考えている。保健室の設置についてはスペース的に困難である。

1.9 学童クラブの今後の方針について

学童クラブの運営方法について、公設公営化を検討したことはあるが、現在は法律的な面を理由に考えていない。但し、現在の運営方法が最善とは考えていないので、NPO の活用や主導的指導員の配置、受益者負担等も含めて今後検討していきたい。

2. 新規要望事項

2.1 保育内容について

0歳児及び1歳児について月齢でのクラス分けについては、確かに月齢での発達の違いが顕著な年齢である。スペースの確保等設備面での難しい問題もあり、メリットばかりでなくデメリットもあり、他市においては反対に縦割りのクラス分けを行っている所もある。現在はフリー保育士や事務などと連携を取って対応しており、充分と考えている。

2.2 安全対策について

- (1) 安全対策については、警察へのパトロール強化依頼、無断立ち入り禁止札の設置、各クラスあたり1個の携帯非常用ブザー、催涙スプレー、警棒、非常ベル、非常通報装置等の設置を行っている。学童クラブに対しても、携帯非常用ブザーやPHS等の設置を行っている。園庭開放に対して、池田小事件以降も中止せずに行っている。国の方針もあり、保育園は地域の子育て支援施設としての役割も担っており、保育士の本来の仕事の一部として関わっている。
- (2) 日の出保育園におけるO26(腸管出血性大腸菌感染症)の二次感染については、8月1日から2ヶ月間と長引いてしまい、父兄の方々には大変心配だったことと思う。今後、このようなことの無いよう考えていきたい。また、指摘された緊急時の対応マニュアルを作成しなければならないという認識を持っており、現在、他市の状況なども合わせて調査を行っている。

3. その他

3.1 分園対策のその後について

分園事業の立て直しについては新たな計画はなく、現時点では分園は難しい。1.6で説明した通り、今年度中に方針を示す予定。

3.2 園長会議について

- (1) 園長会議とは、保育園7園で統一をとるべき大きな事項、或いは保育園の自主性に委ねるべき事項についての話し合いの場であり、子育て家庭課は同席していない。
- (2) 卒園式の謝恩会やアルバム作成に関する件については、各園で対応すべき事項と考えている。

1.4、2.2、3.1に関する質疑応答

1.4 給食、おやつ食材の改善について

フォーラム：要望事項の「無農薬・無添加・無着色の材料」「スナック類などのおやつ」「食物アレルギー」に関わってくると思うが、「遺伝子組換え食品」対策について、どのような対応をしているのか、或いは予定しているのか。

市：遺伝子組換え食品については、市議会で9月頃問題として挙がった。方針としては、遺伝子

組換食品は使用しない。二次製品（調味料・スナック等の加工品）も同様。各メーカーに産地等も問合わせ、小・中学校とも足並みを合わせている。

フォーラム：狂牛病に関して、本日国内で2例目の乳牛感染が発表されたが、浦安市としての方針を教えて欲しい。

市：狂牛病に関しては、教育委員会等でも対策会を設置している。国や県を通じて安全宣言は出たが、保育園としても学校と足並みを揃えてしばし検討していく予定で、給食は牛肉を使用しない献立としている。この件に関しては、近日中に各家庭宛に文書を発信する予定であり、また牛肉使用開始時期に関しても同じように通知する予定である。

2.2 安全対策について

市：安全対策についての具体的なマニュアルや連携などについて、他市はどうなっているか調査している状況であり、研修会等の開催や、マニュアルの作成をしなければならないと考えている。

日の出保育園のO26に関しては、夏休みという事もあったので、旅行や帰省等で休んでいる児が多数いた為、戻ってきてから検便をやってもらったりもした。また、薬に関しても浦安市川市民病院にも確認したが、処方された薬を全部飲み切らなければ効果が無いとのことで、これは保育士にも徹底させた。ある程度症状が治まったからといって途中で内服を中断してしまう、などのさまざまな理由が関連して長引いてしまった。プライバシーの配慮なども考え、その上でお知らせをしてみたつもりである。情報公開の遅れを指摘されているが、県の方から記者クラブに情報を伝えており、その後に浦安市におりてきたので、市としては遅れてお知らせしたつもりはない。

フォーラム：日の出保育園から、実際の流れを説明する。市は8月1日からと言うが、実際は7月20日前後に一次感染児がいたクラスの約半数が下痢症状7日～10日続いていた。この時点で、園に看護婦がいるのに対応していない。その中で1人病院に行き、たまたま専門の医師にO26と診断された。その後の対応はすごく一生懸命やっていただいた。衛生管理や清掃・手洗い等厳しくしたので、保育士の負担が大きく、かえって保育がおろそかになりがちであった。こういった特別の事態には、専門の清掃業者を入れる等の対応を行ってもよいのではないか。今回の件は、市を含めて全員が被害者だと思う。プライバシーと言うが、最初の段階できちんと説明した上で提示していれば、差別等は出なかったのではないか。以上を踏まえて、早急な緊急時のマニュアル作成を希望する。

フォーラム：園庭開放について、安全性に対する配慮や想定人数等を教えて欲しい。

市：想定人数については各園によって異なっており、利用者が多い園は予約制をとるなどして人数を制限しているが、基本的に上限を決めてはいない。

保育園は、地域の子育て支援の為の拠点ともなっており、池田小の事件後の園庭開放は入船保育園が最初で、一時は中止の話も出たが、国から続行の要請もあり、また楽しみにしている人もいることから、その時は職員の体制を増やして行った。門の施錠や携帯非常用ブザーを持たせたり職員の配置など、引続き園庭開放は保護者の理解を得ながらやっていきたい。

3.1 分園対策のその後について

フォーラム：少子化対策特例交付金について、使用期限は今年度迄と理解していたが、使い道について教えて欲しい。待機時が依然多い点についての対策についての現状での方針は。また、分園については幼稚園などへの決定の通知方法も問題だったのでは。

市：東野保育園一時保育の為の改装工事に充当し、交付金使用は完了した。
約 200 名の待機児解消への対策については、各企画調整室より今年度中に方針が出る予定。
現状は、国からは定員 25% 増まで可とされているが、浦安市は約 15% 増に押さえている。
基本的にこれ以上にはしない。
幼稚園については、園同士でのつながりが園長会しか無かった。ご指摘の点も踏まえて企画調整室で検討をしている。

その他について

3.2 園長会議について

フォーラム：園長会議について、もう少し詳しく教えて欲しい。

市：市内 7 園の園長に集まってもらい、市の連絡事項を伝え、その後に園長のみで会議を行っている。7 園の自由な意見を出し合う場なので、行政側は退室する。

フォーラム：園長会議での決定事項を、父兄に説明する前にフォーラムにおろしてもらおうよう、子育て家庭課より進言して欲しい。フォーラムと園長会との接点が無い為、対話ができる方向に持って行ってもらいたい。

1.9 学童クラブの今後の方針について

フォーラム：保育時間の延長や、指導員の確保等に対する予算・現状等の取組みを教えて欲しい。

市：全クラブに対する午後 7 時までの延長に対する予算は確保している。

現状としては、今年 5 月頃より始め、夏休みまで 9 クラブに 6:30~7:00 の延長を実現。夏休み後は 10 クラブとなった。浦安小に関しては 3 月までに 7:00 迄、残りは美浜北のみ。朝に関しては 8:00~。

定員については、今迄オーバーすることは無かったが、今年度から待機学童が出現した。地域によって差が出ており、新規にクラブの建物を設置しようにも他部署との関連ですぐには難しい。

また、3 月 31 日迄と 4 月 1 日~新学期迄の取扱いについては、クラブによって違っており、統一されていない。

以 上